

番号	26 - 2	申請者	神経内科医師 石崎 雅俊
<p>【審査申請課題】</p> <p>神経筋疾患における血液分子マーカーと細胞治療応用への基礎的研究</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>難治性疾患である筋ジストロフィーに対して、根本的治療開発に向けて、ジストロフィン/ユートロフィン2重欠失 (double ko: dko) マウスを用い研究を行っている。我々は、常に骨格筋に壊死・再生が生じているdkoマウスの骨髄から採取した骨髄間質細胞を腹腔内に投与し、その結果、骨格・筋量・運動量の改善、寿命の延長などを確認した。また、dkoマウス由来の骨髄間質細胞の成長因子のマイクロアレイでは、CXCL 12, オステオポンチン, CSF-1の上昇を認めていた。CXCL 12は造血幹細胞の維持、胎児肝から胎児骨髄への造血幹細胞のホーミング、造血幹細胞からBリンパ球の産生に必須と考えられている。オステオポンチンは癌細胞、線維芽細胞や平滑筋細胞に対して細胞接着、遊走活性亢進作用を有し、各種臓器の浸潤転移および線維化に関与していると考えられている。これらの液性因子が筋組織再生を促進しているのではないかと考えている。これらを証明するために、CXCR 4 flox マウスを用いた実験、オステオポンチン中和抗体を用いた実験などを行っている。実際の神経・筋疾患の患者においてCXCL 12, オステオポンチン, CSF-1の血中濃度測定し詳細な検討はされていない。筋ジストロフィー患者から採取した血液検体を用い、CXCL12オステオポンチンCSF-1の血中濃度を測定する。これら</p>			
審査結果	承認 (平成26年4月23日)		